

令和5年度（2023年度）法人本部拠点事業報告

《本部》

I. 事業総括

本部拠点(事務局)は理事長の指示に基づき、本会の業務全般を統括するとともに、各事業間の連絡・調整を図り、適正な運営と円滑な業務の遂行に努めました。また、役員等との連携により「経営組織のガバナンス強化」等マネジメント体制の強化に取り組みました。

長期ビジョンを実現するため諸施策を講じ、法人としての付加価値を高め持続可能な経営の安定化を目指しました。地域との関係性を強化するため、多様なニーズの対応や広報機能を高め、本会の魅力とブランド力を高めることに努めました。

II. 事業目標に対する評価

1. 利用者サービスの充実

KGI (最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	収益計画達成率(経常増減差額49百万円)	100%	163%(経常増減差額80百万円)

2. 地域社会との関係性強化

KGI (最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	ホームページアクセス数	年間7,000件	年間5,584件 (79.8%)

地域住民の方へ、各拠点の事業活動等情報の発信に努めました。新規ユーザーの獲得数が伸び悩み年間指標値に届きませんでした。

3. 生産性向上

KGI (最重要目標指標)	指標名	指標値	実績
	人時生産性	88.07千円	93.17千円
	労働生産性	167,685千円	169,577千円

法人全体の付加価値額は、目標値838百万円に対して実績は847百万円(達成率101%)でした。年間総労働時間は抑えられ、計画どおりの人員体制で運営し生産性は指標値を上回りました。

III. 計画事業の総括

1. サービス事業への取り組み

理事会の適宜開催や諸規定の改定を行い、事務の効率化、経営管理体制の整備に努めました。また各拠点の収益計画、生産性目標値の達成支援を行い職員体制管理や労働時間管理実施のサポートを行いました。

人材定着施策は、安全衛生、健康管理の実施、労働時間管理、社内報の発行等を行い職場環境の整備に努め、事業所間のチームワークを醸成するため法人イベントの開催、環境美化活動を実施しました。また、若年層確保のため企業説明会の参加、各学校を広域的に訪問し、各事業所の取組内容のPR、修学資金貸与制度の周知に努め職種

理解を深めていただきました。

2. 人財育成への取組み

事業所内外研修は、実施方法を工夫しながら人財育成の支援を行いました。組織環境構造マネジメント研修は3年間余りに亘って受講させていただき、組織の原理原則を学びました。一人ひとりが学びを行動に移し実践、習慣化していくことが今後の課題となります。

3. 地域との関係強化への取組み

保育所や入所施設において地域活動を通してPR活動に努めました。現在の取組みを地域の方や関係者へ精力的に発信し理解を育んでもらう機会を積極的に設けていくこと、施設設備や人財の資源を活かした情報の提供や解決に向けた取組、複雑化する地域のニーズの対応等課題となりました。

4. 生産性向上への取組み

担当業務の入れ換えや給与処事務の分担等を行い特定職員へ業務が集中しないよう業務量の平準化に取り組み長時間労働の防止に努めました。各拠点へ業務効率化等に繋がる提案助言など業務見直し支援を行いました。

令和5年度に実施した個別の事業の詳細及び成果等は以下のとおりです。

【サービス計画】

1. 総務関係業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
評議員会・理事会等の運営	評議員会は定款に規定されている決議事項を審議する為に、定時評議員会を開催しました。理事会は7回開催し、法人の業務執行等に係る事項について審議するとともに、理事長等の職務執行報告を行いました。	
人事管理制度の整備	人事評価の適正な運営を行う為、評価者研修を実施しました。	
ヘルス・マネジメント推進	<ul style="list-style-type: none"> 各施設設備の安全管理徹底を発信し安全衛生意識の高揚に努めました。 健康意識を高める有効な情報の発信に努めました。 	
人材定着施策	<ul style="list-style-type: none"> 理事長より職員に対し、誕生日プレゼントの贈呈を行いました。 サンクスカードは職場内及び事業所間で活用し、コミュニケーションの活性化に寄与しました。 職員間の交流、親睦を図る為スポーツ大会（モルック）を実施しました。 環境美化活動を実施し事業所間の協働によるチームワークの醸成を図りました。 絶対ルールを遵守し働く環境の改善に努めました。 	
	KPI	KPI 実績
	離職率 7%以下	離職率 9.95% (前年度 14.00%) うち正職離職率 13.04%

社内報の発行	年間 3 回発行しました。法人内における職員間のコミュニケーションの促進、情報共有に努めました。
--------	--

2. 経理関係業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
管理会計資料の作成	試算表の作成他、各拠点の収益状況等にかかる分析管理資料の提供を行いました。	
	KPI	KPI 実績
	管理会計資料作成率 100%	作成率 100%

3. 広報関係業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
S N S の運用	年間ブログは 54 回更新し各事業所の取組みを発信致しました。	
	KPI	KPI 実績
	各拠点年間ブログ更新数 150 回	更新数 54 回

4. 事業支援業務

計画上の事業	実施内容・成果等	
各拠点収益計画達成支援	各事業所へ収益状況資料を毎月提供し重要指標である生産性の目標値達成の後押しを行いました。	
各拠点の運営支援	計画に沿った事業実施のサポートを行いました。高齢者福祉事業部会、児童福祉事業部会では各事業所と情報を共有し、協議された課題や改善点をマネジメントに繋げました。	
外国人介護技能実習生受入体制整備	11 月に技能実習生 4 名（ミャンマーより）を受入れました。住居環境の整備を行い、支援担当者が実習や生活面のサポートを行いました。	
人材確保の活動	<ul style="list-style-type: none"> ・新卒者等若年層確保のため、学校訪問や高校生を対象とした交流会、企業合同説明会等に参加し情報の収集に努めました。 ・高卒 1 名を採用し大阪健康福祉短期大学へ派遣しました（令和 8 年 3 月卒業予定）。 ・今年度も明誠高等学校修学資金貸与事業に参加し 1 名の方と貸付契約を締結しました。（令和 9 年 3 月卒業予定） 	
法人紹介 DVD 作成	作成を見送りました。	
インターンシップの実施	小学校・中学校・高校生を対象に、事業を通じて業務内容を伝えることができました。	
新卒職員の派遣研修精度の周知、利用促進	県西部の高等学校を広域的に訪問し、新卒職員派遣研修制度の周知活動を行いました。	
益田永島学園明誠高等学校修学資金貸与制度の周知利用促進	石見中学校、瑞穂中学校を中心に訪問エリアを広げ貸与事業について説明を行い学生の確保に努めました。	

5. 人員体制の状況（常勤換算）

（単位：人）

役職名	計画		実績		差異	
	正職	非正職	正職	非正職	正職	非正職
事務局長	1		1			
次長						
課長	1		1			
一般職員	3	1	3	1		
計	5	1	5	1	±0	±0

*一般職非正職 1名は大阪健康福祉短期大への派遣職員

【人財育成事業】

(1) 事業所内研修

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
評価者訓練	課長以上	26名	人事評価の適正な実施について研修を行いました。
人権・権利擁護研修			高齢者、児童虐待発生の要因、自己覚知について学びました。（各事業所個別参加）
ハラスメント研修	一般職員	33名	パワーハラスメントの定義、予防する為の取組み、対策について学びました。
組織環境構造マネジメント研修	正規職員		個人が成長する組織の原理原則を学び、行動ルールの実践に取り組みました。
労務管理研修	施設長 所長	4名	雇用、労働時間等を中心に労務管理の実行者としての基本を学びました。
会計研修	施設長 所長	2名	財務諸表を読み解くポイントについて学びました。

(2) 事業所外研修（外部派遣研修）

実施した研修	対象者	参加者数	実施した内容・成果等
社会保険実務研修	事務局員	1名	諸手続きに関する実務、制度改正について学びました。
公正採用選考人権研修	事務局長	1名	公正な採用システムの確立について知識を深めました。
人権同和教育研修	事務局員		不参加
メンタルヘルス研修	事務局員	1名	メンタルヘルスの必要性を理解し知識を習得しました。

【地域との関係強化への取組み】

実施した事業	事業内容・成果等
公益事業の推進支援、広報活動の推進	・福祉サービスの積極的な提供に関し事業課としての機能が上手く発揮できませんでした。 ・広報誌、HP、SNS 等を活用し積極的な情報発信に努めました。

【生産性向上への取組み】

(1) 業務の見直し

総務業務と経理業務について、業務の効率化とリスク管理の観点から、担当業務以外の業務に携わり、相互の業務内容を理解し習得することに努め、経験値を得ることが出来ました。

(2) 各拠点業務の見直し

各拠点に対し業務の効率化を図る為、業務の明確化と役割分担、ICT 化の導入等について提案及び助言を行いました。

【積立の状況】

(単位：千円)

積立目的	計画	実績
その他	600	600
計	600	600

【感染症・災害への対応への取組み】

感染症・災害への対応力を強化する為の、BCP に基づくシミュレーションや訓練の実施は不十分でした。

以 上